

2012年4月2日

東急グループ代表 越村 敏昭(東京急行電鉄株式会社取締役会長)
2012年度 東急グループ合同入社式メッセージ【要旨】

東急グループ

1. 日 時 2012年4月2日(月)11:00～
2. 場 所 Bunkamura オーチャードホール(東京都渋谷区)
3. 内 容 2012年度東急グループ合同入社式での東急グループ代表・越村 敏昭(東京急行電鉄株式会社取締役会長)によるメッセージ(要旨)

東急グループでは毎年、首都圏の会社を中心に合同で入社式を開催しています。

参加会社:東京急行電鉄、東急不動産、東急コミュニティー、東急リパブル、東急建設、世紀東急工業
東急レクリエーション、など31社

参加人数:627人

【東急グループの一員として認識すべきキーワードは「安心と信頼」】

東急グループは、「美しい時代へ」をスローガンに、「美しい生活環境の創造」を目指し、交通事業を基盤とした「街づくり」を中心に、不動産事業、リテール事業、レジャー・サービス事業、ホテル事業、建設業など幅広い分野で事業を行っています。また、教育・文化・国際交流への支援活動や、さまざまな社会貢献活動にも取り組んでいます。

本日、こうしたお客さまの生活に密着した、それぞれの分野で東急グループの一員となった皆さんに、ぜひ、認識していただきたいキーワードが2つあります。それは、「安心」と「信頼」です。

今日までの東急グループの成長は、先輩たちが長い年月をかけ、お客さまや社会から「安心」と「信頼」を獲得することにより実現してきたものです。時代と共に、お客さまが求められる商品、サービスが変わっても、東急グループの基盤が「安心」と「信頼」であることは変わりありません。

企業は社会的な存在であり、社員一人ひとりが社会のルールに則って行動し、「東急」がより一層愛されるブランドとなるよう、社会的な責任を果たすようお願いします。

現在、我が国は、東日本大震災から一年が経過し、徐々に復興を遂げつつありますが、南欧州各国の債務問題などにより、輸出回復が遅れ、さらに我が国の少子高齢化は、先進国をはじめ、どの国も経験したことがないような急激なスピードで進んでいます。国内の消費の量的縮小が進む中ではありますが、東急グループは、新たなマーケットの開拓など、将来の持続的成長を目指しているところです。過去の歴史に照らすならば、大きな社会構造の変革期は、一方では、飛躍のチャンスでもあります。こうした時代の変革に的確に対応するために、東急グループは、グローバルな視点に立ち、新しい分野にも果敢に挑戦しており、これからは、皆さんの「若い柔軟な発想」や、「行動力」を発揮する場が多くなっていきます。

皆さんは「会社が自分に何をさせてくれるのか」を待つのではなく、「自分は何をすべきか」を常に意識し、自ら考えて主体的にやり抜くことが皆さんの今後の飛躍と、東急グループの成長にもつながります。

皆さんが、かけがえのない人生を有意義に過ごし、そして大いに成長されることを心より願っています。

以上